

授業科目	* 保育者論 (Aクラス)				単位	2		
履 修	必修	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH11101J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP4-1			
担当教員	池田 佐輪子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>幼稚園、保育所、認定こども園、児童福祉施設で働く保育士、幼稚園教諭は専門職として保育に携わっている。保育者は、保育に必要な知識、技能、仕事への倫理観をもつことが必要であることを踏まえ、その専門性について理解を促す。さらに、実務家教員として、保育所保育士の実践を通して蓄積した具体的な実践記録をもとに、保育活動及び保育の専門性について学生と共に討議する。また、子どもの成長と保護者等の子ども育成力を支える保育者として、他者と協働していくことの社会的役割についての理解を深める。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・保育の目的とその担い手である保育者の存在意義を理解している。</li> <li>・進路選択に向け、他の職業との比較を通して、教職・保育職の職業的特徴を理解している。</li> <li>・教職観・保育職観の変遷を踏まえ、今日の保育者に求められる役割を理解している。</li> <li>・今日の保育者に求められる基礎的な資質能力を理解している。</li> <li>・幼児の指導及び指導以外の校務・業務を含めた保育者の職務の全体像を理解している。</li> <li>・保育者研修の意義及び制度上の位置づけ並びに専門職として適切に職務を遂行するため生涯にわたって学び続けることの必要性を理解している。</li> <li>・保育者に課せられる服務上及び身分上の義務及び身分保障を理解している。</li> <li>・職場内の保育者や多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、チームとして組織的に諸課題に対応することの重要性を理解している。</li> <li>・専門職としての保育者の倫理観を確立し、責務の自覚が必要であることを理解している。</li> <li>・保育者として保護者や地域社会との協働、各専門機関との協働について理解している。</li> <li>・さまざまな事例を通して、子ども観や保育観の基礎を養う。</li> </ul>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	0	10	10	10	10	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	45		10	5	10		70	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)	15			5		10	30	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				

標準的なレベルに加え、保育者の責務を果たそうとする態度や、子どもを深く理解しようとする意識をもつようになる。		学生が達成すべき行動目標に掲げた項目について理解ができる。また保育者としての専門性や倫理観をもつことができる。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:オリエンテーション 学生自身が持つ保育者のイメージを検討しつつ、保育者の社会的役割、制度的位置づけについて知り、社会に求められる保育者としての姿を考察していく。	オリエンテーションにて授業の進行と単位取得の方法を説明する。	予習:「どのような保育者になりたいのか」望ましい保育者像を考える。	15
2	テーマ: 保育者の専門性①—保育者に求められる資質・能力 保育者に必要な専門性について知るとともに、保育者に求められる資質や能力について検討する。	講義と意見交換	講義の内容を復習する。	15
3	テーマ: 保育者の専門性②—保育者に必要な資格・免許 保育の歴史をたどりながら、保育者に必要な資格・免許について	講義	講義の内容を復習する。	15
4	テーマ: 保育者としての倫理観 「子どもの最善の利益」を守る者としての役割、もつべき倫理観について学ぶ。	講義	予習:「どのような子どもを育てたいか」目指す子どもの姿を考える。	15
5	テーマ: 保育者の役割① クラス運営における保育のねらいの設定及び目指す子ども像について検討する。	講義と意見交換	講義の内容を復習する。	15
6	テーマ: 保育者の役割② クラス担任として子どもの発達を見据えた環境構成と生活援助	講義	講義の内容を復習する。	15
7	テーマ: 保育者の役割③ チーム保育及び職員相互の連携・協働の姿勢、保育の1日の流れを通して	講義	講義の内容を復習する。	15
8	テーマ: 保育者の役割④ 子ども・保護者・同僚・地域からの信頼を得る保育者としてのあり方	講義	講義の内容を復習する。	15
9	テーマ: 保育者の義務と身分保障 保育者としての責任と義務について学習し、その身分保障について	講義	講義の内容を復習する。	15
10	テーマ: 保育における現代的課題① 保育ニーズと園内における対応	講義	講義の内容を復習する。	15
11	テーマ: 保育における現代的課題② 保・幼・小・関係機関との連携と現状	講義	講義の内容を復習する。	15
12	テーマ: 実践記録から学ぶ保育者の役割① 指導計画と環境構成	講義	講義の内容を復習する	15
13	テーマ: 実践記録から学ぶ保育者の役割② 受容と援助の具体的事例	講義	講義の内容を復習する。	15
14	テーマ: 実践記録から学ぶ保育者の役割③ 具体的な子どもの行動と保育者の関わりについて事例検討をする。	講義 これまでの講義内容を踏まえ、事例について意見交換をする。	これまでの講義を振り返りながら、事例について意見交換ができるように予習しておく。	60

15	テーマ:まとめと振り返り これまでの授業を振り返り、学習した内容について確認 保育者自身の成長のための自己研鑽について	振り返り 資料整理	講義全体の内容を資料を基に整理・復習する。また保育者についての意識の変容についてレポートにまとめる。	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	特にありません。			
テキスト	保育者論／汐見稔幸・大豆生田啓友編／ミネルヴァ書房			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書 ・平成29年度告示幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領／チャイルド本社 ・全国保育士会倫理綱領ガイドブック(改訂2版)／全国社会福祉協議会			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に指定された教科書、資料等の箇所を読んだ上で授業に臨みましょう。</li> <li>・授業内では、学生に意見や考えを発表する機会を設けています。授業内での課題に対して自分の考えを持ちつつ、学生相互に学びあえるようにしましょう。</li> </ul>			
達成度評価に関するコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験は穴埋めや正誤問題、記述問題です。</li> <li>・発表については、課題の趣旨の理解と、主体的な意見表明に注目して評価します。</li> <li>・「その他」については、授業への積極的な参加態度や意見発表等で評価していきます。</li> </ul>			

